純資産

日商簿記３級で学習した内容

・株式の発行

・資本振替

・剰余金の配当

・利益準備金の積立

分　類

【重要性：A】

ＰＯＩＮＴ！

純資産に表示される項目を覚えよう！

（１）純資産とは？

貸借対照表は、資産の部、負債の部、純資産の部の３つに区分します。純資産は、資産から負債を差し引いた差額です。

（２）株主資本

純資産について、2級では「**株主資本**（かぶぬししほん）」と 「評価・換算差額等」について学習します。株主資本は、**資本金**、**資本剰余金**（しほんじょうよきん）（資本準備金（しほんじゅんびきん）、その他資本剰余金）、**利益剰余金**（りえきじょうよきん）（利益準備金（りえきじゅんびきん）、その他利益剰余金）に区分します。その他利益剰余金は、任意積立金（にんいつみたてきん）と繰越利益剰余金に区分します。

資本金と資本剰余金は「元手」であり、利益剰余金は「もうけ」を意味します。

（３）評価・換算差額等

「評価・換算差額等」について、2級ではその他有価証券評価差額金のみ学習します。

貸　借　対　照　表

<table>
<tr><td rowspan="8">資　　産</td><td colspan="5">負　　債</td></tr>
<tr><td rowspan="7">純資産</td><td rowspan="6">株主資本</td><td colspan="3">資　本　金</td></tr>
<tr><td rowspan="2">資本剰余金</td><td colspan="2">資本準備金</td></tr>
<tr><td colspan="2">その他資本剰余金</td></tr>
<tr><td rowspan="3">利益剰余金</td><td colspan="2">利益準備金</td></tr>
<tr><td rowspan="2">その他利益剰余金</td><td>任意積立金</td></tr>
<tr><td>繰越利益剰余金</td></tr>
<tr><td>評価・換算差額等</td><td colspan="3">その他有価証券評価差額金</td></tr>
</table>

資本金組入額

【重要性：A】

ＰＯＩＮＴ！

資本金組入額のルールを覚えよう！

主な勘定科目

「資本金」勘定（純資産）

「資本準備金」勘定（純資産）

会社の設立時とその後の新株発行時に株式を発行します。

株式を発行した場合、原則として払込金額の全額を「**資本金**」とします。また、容認として払込金額のうち２分の１を超えない金額は資本金としないこともできます。つまり、払込金額のうち最低２分の１は資本金としなければなりません。この場合、資本金としなかった金額は「**資本準備金**」とします。

株式の発行による払込金額のうち、資本金に計上する金額を**資本金組入額**（しほんきんくみいれがく）といいます。

例題　**会社の設立にあたり、株式100株を１株あたり8,000円で発行し、払込金額は当座預金とした。**

資本金組入額に関する指示がない場合、原則である「払込金額の全額」を資本金とします。

借方科目	金額	貸方科目	金額
当座預金	**800,000**	**資本金**	**800,000**

資本金：8,000円×100株＝800,000

例題　**会社の設立にあたり、株式100株を１株あたり8,000円で発行し、払込金額は当座預金とした。なお、1株あたり6,000円を資本金に組み入れる。**

借方科目	金額	貸方科目	金額
当座預金	**800,000**	**資本金**	**600,000**
		資本準備金	**200,000**

資本金：6,000円×100株＝600,000

資本準備金：8,000円×100株－資本金600,000＝200,000

例題　**会社の設立にあたり、株式100株を１株あたり8,000円で発行し、払込金額は当座預金とした。なお、資本金組入額は会社法規定の最低限度額とする。**

借方科目	金額	貸方科目	金額
当座預金	**800,000**	**資本金**	**400,000**
		資本準備金	**400,000**

資本金：8,000円×100株×1/2＝400,000

新株発行の手続

【重要性：B】

ＰＯＩＮＴ！

①　新株発行の手続の流れを理解しよう！

②　仕訳をマスターしよう！

主な勘定科目

「株式申込証拠金」勘定（純資産）

「別段預金」勘定（資産）

「資本金」勘定（純資産）

会社設立後に新たに株式を発行することを**新株発行**といいます。また、資本金が増えることから**増資**（ぞうし）ともいいます。新株発行は通常、取締役会で決定し、その後、株主の募集、株式の申込、株式の割当を経て、払込期日に資本金等に振り替えます。

（1）株式の申込

発行する株式の条件を公告して株主を募集します。株式を申し込む人（申込人）は申込証拠金を払い込んで申し込みます。会社は申込証拠金（もうしこみしょうこきん）を受け取ったときに、「**別段預金**（べつだんよきん）」勘定（資産）と「**株式申込証拠金**」勘定（純資産）で処理します。なお、「別段預金」勘定（資産）は、申込証拠金等を一時的に処理する勘定です。

借 方 科 目	金　額	貸 方 科 目	金　額
別　段　預　金	×××	**株 式 申 込 証 拠 金**	×××

（2）株式の割当

株式を割り当てる人を決定し、割り当てにもれた申込人に申込証拠金を返金します。したがって、返金した場合には、申込時と反対の仕訳を行います。

借 方 科 目	金　額	貸 方 科 目	金　額
株 式 申 込 証 拠 金	×××	**別　段　預　金**	×××

（3）払込期日

払込期日が到来したら、「株式申込証拠金」勘定を「**資本金**」勘定（純資産）または「**資本準備金**」勘定（純資産）に振り替えます。また、「別段預金」勘定（資産）から「当座預金」勘定（資産）等に振り替えます。

借 方 科 目	金　額	貸 方 科 目	金　額
株 式 申 込 証 拠 金	×××	**資　本　金**	×××
当　座　預　金	×××	**別　段　預　金**	×××

例題　**以下の新株発行に関する仕訳を答えなさい。**

①　普通株式200株の新株発行を行うため１株あたり700円で新株の引き受けの募集を行ったところ、申込期間中に220株分の応募があり、受け取った金額は別段預金に預け入れた。

②　割り当てにもれた20株の申込人に対して申込証拠金を返金した。

③　払込期日が到来したので、別段預金に預け入れられている申込証拠金を当座預金に振り替えた。なお、資本金組入額は会社法規定の原則額とする。

①　申込

借方科目	金額	貸方科目	金額
別段預金	**154,000**	**株式申込証拠金**	**154,000**

株式申込証拠金：@700×220株＝154,000

②　割当

借方科目	金額	貸方科目	金額
株式申込証拠金	**14,000**	**別段預金**	**14,000**

株式申込証拠金：@700×20株＝14,000

③　払込期日

借方科目	金額	貸方科目	金額
株式申込証拠金	**140,000**	**資本金**	**140,000**
当座預金	**140,000**	**別段預金**	**140,000**

資本金：@700×200株＝140,000